



令和6（2024）年6月19日

報道関係者 各位

国立アイヌ民族博物館 令和6(2024)年度秋期主催事業のご案内

国立アイヌ民族博物館 第9回特別展示

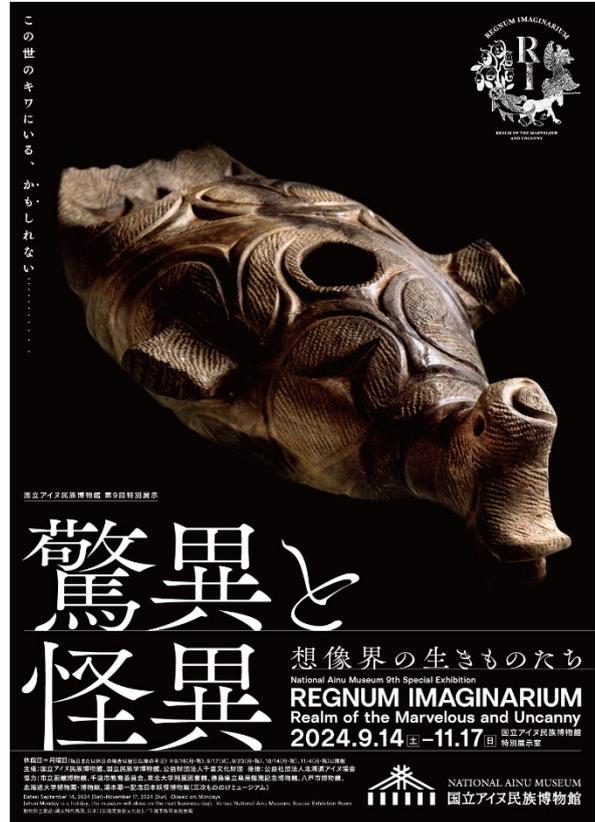
「驚異と怪異—想像界の生きものたち」

REGNUM IMAGINARIUM: Realm of the Marvelous and Uncanny

アヌココロ アイヌ イコロマケナル 国立アイヌ民族博物館（館長：佐々木史郎、所在地：北海道白老町）では、2024(令和6)年9月14日(土)から2024(令和6)年11月17日(日)まで、第9回特別展示「驚異と怪異—想像界の生きものたち」を開催いたします。

ヨーロッパや中東においては、犬頭人、一角獣といった不可思議ではあるが実在するかもしれない「驚異」は、自然誌の知識の一部として伝えられました。また、東アジアにおいては、奇怪な現象や異様な物体を説明しようとする心の動きが、「怪異」を生み出しました。本展示では、常識や慣習から逸脱した「異」なるもの（異境・異人・異類）をめぐる人間の心理と想像力の働き、言説と視覚表象物の関係を解明するとともに、人間の想像力と環境の相関関係を究明します。

本展は、国立民族学博物館で、2019年秋に開催された特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」の巡回展です。北海道会場ならではのコンテンツもあわせてご紹介します。



内覧会を下記日程にて開催いたします。

詳細につきましては同送しております「国立アイヌ民族博物館 内覧会のご案内」をご確認ください。

開催日時：2024年9月13日（金）13:30～15:30

本件に関するお問い合わせ先

国立アイヌ民族博物館 事業課 広報担当
TEL: 0144-82-3914（ウポポイ代表）
FAX: 0144-84-8797

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-1
E-mail: information@nam.go.jp

1. 基本情報

(1) 展覧会名称

日本語名称：「驚異と怪異—想像界の生きものたち」

英語名称：REGNUM IMAGINARIUM: Realm of the Marvelous and Uncanny

(2) 展覧会概要

人類は、常識や慣習から逸脱した「異」なるものを、どのように認識し、説明し、描いてきたのでしょうか。本展は、人魚や龍、河童など、想像界の生きもの多様性について絵画や書籍、祭具などをとおして紹介し、人間の想像と創造の力の源泉を探ります。奇妙で怪しい、不気味だけどかわいい、世界の霊獣・幻獣・怪獣が大集合！

(3) 会場

国立アイヌ民族博物館 特別展示室

(4) 会期 ※詳細はウェブサイトをご覧ください。

2024（令和6）年9月14日（土）～2024（令和6）年11月17日（日）

・月曜日は休館（祝日または休日の場合は翌日以降の平日）

※9月16日(月)・9月17日(火)・9月23日(月)、10月14日(月)、11月4日(月)は開館

・9月14日（土）～16（月）、9月21日（土）～23（月）は夜間営業日 9:00～20:00

・9月17日（火）～20日（金）、9月25日（水）～10月31日（木）は9:00～18:00

・11月1日（金）～17日（日）は9:00～17:00

・ウポポイ（民族共生象徴空間）への入園は閉園1時間前まで。博物館入館は閉館30分前まで。

(5) 主催・後援・協力

主催：国立アイヌ民族博物館、国立民族学博物館、公益財団法人千里文化財団

後援：公益財団法人北海道アイヌ協会

協力：市立函館博物館、千歳市教育委員会、東北大学附属図書館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、八戸市博物館、北海道大学植物園・博物館、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）

(6) 展示資料数

展示資料収蔵機関：国立アイヌ民族博物館、国立民族学博物館、市立函館博物館、千歳市教育委員会、東北大学附属図書館、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館、八戸市博物館、北海道大学植物園・博物館、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）

資料数：約500点を予定

(7) 観覧料

ウポポイ（民族共生象徴空間）入場料（税込）

・大人（一般） 1,200円＋特別展示観覧料 300円（240円）

・高校生 600円＋特別展示観覧料 200円（160円）

・中学生以下 無料

※国立アイヌ民族博物館の入館料は、民族共生象徴空間（愛称「ウポポイ」）の入場料金に含まれます。

※（ ）は20名以上の団体料金。

※障がい者とその介護者各1名は無料です。入園の際に証明書等をご提示ください。

(8) 特別展示ウェブサイトのURL

<http://nam.go.jp/exhibition/floor2/special/kyoui2024/>

2. 展示構成等

第一部：想像界の生物相

（国立民族学博物館の民族資料を中心に、「想像界の生物多様性」を見せる。）

1 水

1.1 人魚

1.2 龍

1.3 水怪（河童など）

2 天

2.1 霊鳥・怪鳥・鳥人（ガルーダ、鳳凰、天使など）

2.2 天象（天狗、ニジヘビ、サンダーバードなど）

2.3 天馬

3 地

3.1 巨人

3.2 有角人

3.3 変身獣（狼男、きつねなど）

3.4 霊獣・怪獣（獅子、白沢、麒麟など）

3.5 蟲（蜘蛛、蛇など）

3.6 人間植物（マンドラゴラ、人の頭となる木など）

第二部：想像界の変相

（「驚異と怪異の文化史」をたどる。現代のクリエイターたちの作品もとりあげる。）

1 聞く（音の怪異、かたちになる以前の存在）

2 見る（奇獣・怪物等、自然から逸脱するものの出現・存在の記録）

3 知る（知識体系・世界像の中に位置づけられた奇獣・幻獣、異民族）

4 創る（現代のクリエイターたちが創る、いるかもしれないクリーチャー）

4.1 アート（ヤン・シュヴァンクマイエル、丹羽優太、五十嵐大介など）

4.2 アイヌの想像界：ケニ（山丸賢雄）によるアイヌの伝承解説とイラストレーション

4.3 幻獣観光と商品化：イエティ、ネッシー、クッシー、アマビエ

3. 関連事業（予定）

ギャラリートークなどの関連イベントを予定しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

- (1) 関連する研究者による講演会・シンポジウム等
- (2) その他（研究員、学芸員によるギャラリートーク）

(1) 関連する研究者による講演会・シンポジウム・ギャラリートーク等

- ①9月14日（土）14:00（60分）開会記念ギャラリートーク（山中由里子氏・国立民族学博物館 教授）（特別展示室）
- ②9月15日（日）14:00（60分）開会記念講演会（山中由里子氏・国立民族学博物館 教授）
「人はなぜモンスターを想像するのか？」（交流室）
- ③10月14日（月）14:00（60分）民博×アイヌ博クロストーク（交流室）

(2) 当館研究員、学芸員によるギャラリートーク

- ①9月21日（土）14:00（30分）ギャラリートーク①
- ②11月3日（日）11:00（30分）ギャラリートーク②
- ③11月3日（日）14:00（30分）ギャラリートーク③
- ④11月17日（日）14:00（30分）ギャラリートーク④

以上